

【様式1】

団体名 南城市立知念小学校	連絡先 TEL： 098-948-1302 Eメール： chinensho@edu.city.nanjo.okinawa.jp
----------------------	--

1 実践事項 (②カリキュラムマネジメント)

タイトル：「主体的に繋がる」を大切にした系統的な指導を通して

2 実践内容

【教科横断的な学習】

各学年がカリキュラムマネジメントを基に計画し、横断的な学習指導が実践できるようにした。2学年は、算数科の「かけ算」に関連づけ、図工科の「にぎにぎねんど」でかけ算の「いくつずつのいくつつ」を柿やケーキで表現した。4年生は社会科「昔から今へ続く町作り」と総合的な学習の時間「みんな大好き南城市」を関連づけ、地域の史跡巡りを行った。6年生は国語科の「町の幸福論」と総合学習「南城市の未来を考えよう」を関連づけ、ゲストティーチャーを招いて横断的・系統的な学習指導を行った。

【人的・物的資源の活用】

タブレットを活用して、調べ学習や考えを深め合う交流活動を行った。理科ではノートを写真に撮りスライドに貼り付けることで他のグループと考えを比較検討したり、6年生の社会科では学習動画を見てスライドにまとめる活動を宿題として出すなどして家庭学習でも活用した。また、4年生の社会科では、具志川火力発電所や北谷浄水場の見学をZoomで行った。5年生は国語科「問題を解決するために話し合おう」で久高小とオンラインでつなぎ、話し合い活動を行った。その際、ジャムボードの付箋機能を使った気づきの共有やペンを使ってグルーピングを行った。

3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)

- ・2年算数「かけ算」と図工科「にぎにぎねんど」の横断的指導を通して(写真①)
- ・4年生は社会科と総合的な学習の時間を関連づけ、地域の史跡巡りを行った。(写真②)
- ・5年生国語【オンラインZOOMシステムを活用して久高小の児童と話し合い活動】(写真③)



4 成果

各学年が工夫してタブレットの活用を行ったことで、児童のパソコン操作のスキルアップに繋がった。タブレットを使うことで学習形態が広がり、子ども同士の考えの共有や外部との連携が容易になった。

5 課題

教科横断的な学習は工夫して取り組めるようになったが、地域人材を活用しての学習をもっと充実させたい。その為に、見通しをもった学習計画を立て、地域コーディネーターとの連携を図っていく。